



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社アクシス 上場取引所 東
 コード番号 4012 URL https://www.axis-net.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)小倉 博文
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)石川 浩一 TEL 03-5501-1277
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,780	—	266	—	276	—	180	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	93.92	87.30
2019年12月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 2019年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2020年12月期第3四半期の対前年同期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2020年9月30日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2020年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年12月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2020年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	2,393	1,728	72.2
2019年12月期	2,042	1,470	72.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,728百万円 2019年12月期 1,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,679	7.9	264	58.2	274	49.0	193	47.8	99.86

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2020年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期3Q	2,050,000株	2019年12月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	50,000株	2019年12月期	78,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	1,922,285株	2019年12月期3Q	—株

（注）1. 2020年6月26日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

2. 当社は、2019年12月期第3四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じながら、段階的な経済活動の再開によって回復の兆しがみられるものの、依然として先行きは不透明な状況であります。日銀短観9月調査によると、当社の売上の過半を占める業種である金融機関を含む全産業のソフトウェア投資額は2020年度計画が前年度比3.2%となっており、IT投資への影響は限定的となっております。

このような当社を取り巻く環境の中、2018年期初からの中期事業計画の達成に向け、当社の創業以来の事業であるシステムインテグレーション事業及び2018年度から開始したクラウドサービス事業において、顧客からの信頼を獲得し持続的にサービスを提供することができるよう、様々な要望に対応したサービス提供を行うとともに、デジタルトランスフォーメーション等のデジタル社会の変化をビジネスのチャンスとするために、多数の先端技術の吸収を積極的に行うと同時に、業容拡大に向けた人材の積極採用を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高2,780,326千円、営業利益は266,829千円、経常利益は276,252千円、四半期純利益は180,536千円となりました。

なお、当社は、システムインテグレーション事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業のサービス別売上高については、以下の通りです。

a システムインテグレーション事業

当第3四半期累計期間においては、依然としてIT技術者不足の状況にあるため、コロナ禍における採用環境の変化に対応した採用活動を積極的に取り組むと同時に、ビジネスパートナーとの協力関係の強化及び新規のビジネスパートナーの開拓を行うなど、さらなる受注拡大に向けた体制構築を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,604,791千円となりました。

b クラウドサービス事業

当第3四半期累計期間においては、積極的な広告宣伝を行い、クラウドサービス事業の認知度を上げることにより新規契約を順調に獲得し、累計契約台数が着実に増加しております(2020年9月末時点の累計契約台数7,479台)。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は175,534千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して350,992千円増加し、2,393,158千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が407,213千円、繰延税金資産等の投資その他の資産合計が32,607千円増加し、売掛金が79,892千円減少したことによるものです。

負債合計は前事業年度末と比較して93,672千円増加し、664,945千円となりました。その主な要因は、賞与引当金が72,801千円増加したことによるものです。

純資産合計は前事業年度末と比較して、257,319千円増加し、1,728,212千円となりました。その主な要因は、新株式の発行及び自己株式の処分により資本金が24,610千円、資本剰余金が46,363千円増加し、四半期純利益の計上等により利益剰余金が180,536千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間において、営業利益及び経常利益が2020年12月期の業績予想を超えており、引き続き業績は堅調に推移することを予想しておりますが、今後の見通しにつきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,684	1,618,897
売掛金	512,241	432,348
商品	3,135	14,782
貯蔵品	36,358	27,957
その他	32,834	37,500
貸倒引当金	△194	△393
流動資産合計	1,796,058	2,131,094
固定資産		
有形固定資産	45,919	42,207
無形固定資産	28,688	15,748
投資その他の資産		
その他	172,627	205,235
貸倒引当金	△1,127	△1,127
投資その他の資産合計	171,500	204,107
固定資産合計	246,108	262,064
資産合計	2,042,166	2,393,158
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,530	98,684
1年内返済予定の長期借入金	20,596	—
未払法人税等	21,254	101,964
賞与引当金	—	72,801
関係会社整理損失引当金	1,821	—
その他	237,326	211,338
流動負債合計	403,528	484,787
固定負債		
退職給付引当金	167,578	179,929
その他	166	227
固定負債合計	167,744	180,157
負債合計	571,273	664,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	74,610
資本剰余金	14,602	60,966
利益剰余金	1,422,475	1,603,011
自己株式	△16,185	△10,375
株主資本合計	1,470,893	1,728,212
純資産合計	1,470,893	1,728,212
負債純資産合計	2,042,166	2,393,158

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,780,326
売上原価	2,068,060
売上総利益	712,265
販売費及び一般管理費	445,435
営業利益	266,829
営業外収益	
受取利息	23
助成金収入	10,800
その他	3,342
営業外収益合計	14,165
営業外費用	
支払利息	24
株式交付費	4,277
その他	441
営業外費用合計	4,743
経常利益	276,252
税引前四半期純利益	276,252
法人税、住民税及び事業税	132,043
法人税等調整額	△36,327
法人税等合計	95,715
四半期純利益	180,536

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月30日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2020年9月29日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式50,000株の発行及び自己株式28,000株の処分により、資本金が24,610千円及び資本剰余金が46,363千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が74,610千円、資本剰余金が60,966千円となっております。